

輝け！尾花っ子！

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～



第 1 号

令和 5 年 4 月 3 日

侍ジャパンの世界一に思う

先日行われたワールド・ベースボールクラシックで、侍ジャパンが 14 年ぶりの世界一に輝いたことは、記憶に新しいところです。



なぜ彼らはあれほど感動を与えるのでしょうか？

なぜ彼らはあれほど賞賛されるのでしょうか？

要因はたくさんあるのですが、私は特に「仲間に対する信頼」と「対戦相手に対するリスペクト」の2つに注目しています。

例えば、準々決勝まで不振だった村上宗隆選手。準決勝でも3つの三振を喫していた村上選手を監督はじめチームメートが信じることで、劇的なサヨナラ逆転打が生まれました。

また、侍ジャパンは常に相手に対する敬意を表していました。中国、韓国、台湾といったアジアの野球を共に盛り上げようと切磋琢磨してきたチームへの敬意、チェコやオーストラリア、イタリアといった野球があまり盛んでないながらも大健闘したチームへの敬意、そしてメキシコ、アメリカといった痺れるような激戦を展開したチームへの敬意…。

自分だけでなく仲間を信じ、相手への感謝や謙虚さを持って戦った侍ジャパンに、世界が感動し、賞賛の拍手を送ったのだと思います。

実は、これらのことは日本の学校教育の道徳教育の大きな成果でもあると思っています。道徳教育で学習する内容は次のとおりです。

自分自身	人との関わり	集団や社会	生命や崇高なもの
自律、正直、誠実 節度、節制、個性の伸 長、希望と勇氣 努力と強い意志	親切、思いやり 感謝、礼儀 友情、信頼 相互理解、寛容	規則の尊重 集団生活の充実 国や郷土を愛する心 国際理解、国際親善	感動、畏敬の念 よりよく生きる喜び

感染症への対応、自然災害…。予測困難なこれからの時代を乗り切るために、多様な他者と力を合わせて解決策を模索していく力、そしてみんなが幸せになれる（ウェルビーイングな）世の中をつかっていく力を子供たちに育成することが、求められています。

では、私たち大人は何をするとよいのでしょうか？

子供は大人の背中を見ています。シンプルですが、実業家で京セラ創設者の故稲盛和夫氏が提唱する「よりよい生き方」をすることではないでしょうか。嘘をつかない、正直でありなさい、人に迷惑をかけない、人に親切にいなさい…。

大人が範を示すことが求められているのです。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330